

★「接着」と「粘着」は何が違う？ 粘着剤・粘着テープの材料、メカニズム、設計、評価を基礎から解説
★なぜ「くっつく」のか？なぜ「剥がれる」のか？ 粘着・剥離のメカニズムを粘弾性から理解する
★タック・粘着力・保持力は何が違う？ 粘着テープの3特性と評価法、実用特性をわかりやすく解説
★被着体の汚れ・気泡・温度・粘着残りなど、粘着テープ使用時のトラブルと対策を解説
★海洋分解性・生分解性・バイオベースなど、環境対応型粘着製品の最新動向も紹介

セミナーNo.612205



粘着剤・粘着テープの

粘着・剥離メカニズム、設計、評価、実務応用

●日 時: 2026年12月11日(金) 10:00～17:00 ●聴講料: 1名につき 55,000円(消費税込み、資料付)
●会 場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)]
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

●講師: 日東電工(株)

基盤機能材料事業部門

開発管理課 戸崎 裕 氏

【公職】

日本接着学会 中部支部監事、「接着の技術」編集委員
日本粘着テープ工業会 粘着技術講座 講師
名古屋工業大学大学院 実務型教員
三重大学大学院 非常勤講師

他

【講座の趣旨】 本講座では粘着テープを使用される企業の方、設計される方を対象に粘着剤・粘着テープの材料、メカニズム、設計、評価法などを基礎から分かりやすく解説します。

1. はじめに

- 1.1 粘着剤と接着剤の違い
- 1.2 いろいろな粘着テープ

2. 粘着テープの材料・製造方法

- 2.1 粘着剤の種類
(ゴム系、アクリル系、シリコン系)
- 2.2 アクリル系配合材料(モノマー、
架橋剤、タッキファイヤなど)
- 2.3 基材(支持体)、下塗り剤、背面処理剤
- 2.4 重合、塗工

3. 粘着・剥離のメカニズム

- 3.1 粘弾性挙動の理解
- 3.2 なぜくっつくのか？
- 3.3 なぜ剥がれないのか？
- 3.4 剥離の速度・温度・角度依存性

4. 粘着テープの設計

- 4.1 表面(界面)の設計～極性のコントロール～

- 4.2 バルクの設計～凝集力のコントロール～

5. 粘着剤・粘着テープの評価法

- 5.1 粘弾性体のモデル
- 5.2 応力-ひずみ、応力緩和
- 5.3 粘着3特性(タック、粘着力、保持力)
- 5.4 実用特性と代用特性
- 5.5 耐久性と促進試験

6. テープ選定時の注意点と

使用時のトラブル対策

- 6.1 目的に応じた選定法
- 6.2 注意すべき被着体
- 6.3 使用時のトラブル対策例

【質疑応答】

受講者の皆様の抱える疑問点や問題点について、
セミナー開催3日前までに「事前リクエスト用紙」
(請求書に同封)や「Eメール」を御寄せ頂ければ、
講演中に対応させていただきます。

セミナー申込書

「粘着」セミナー

No.612205

12/11

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。

・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(SMS、携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

- 1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- 2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

- 3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 4. 定員になり次第、申込みは締切となります。